

小物入れを作ろう

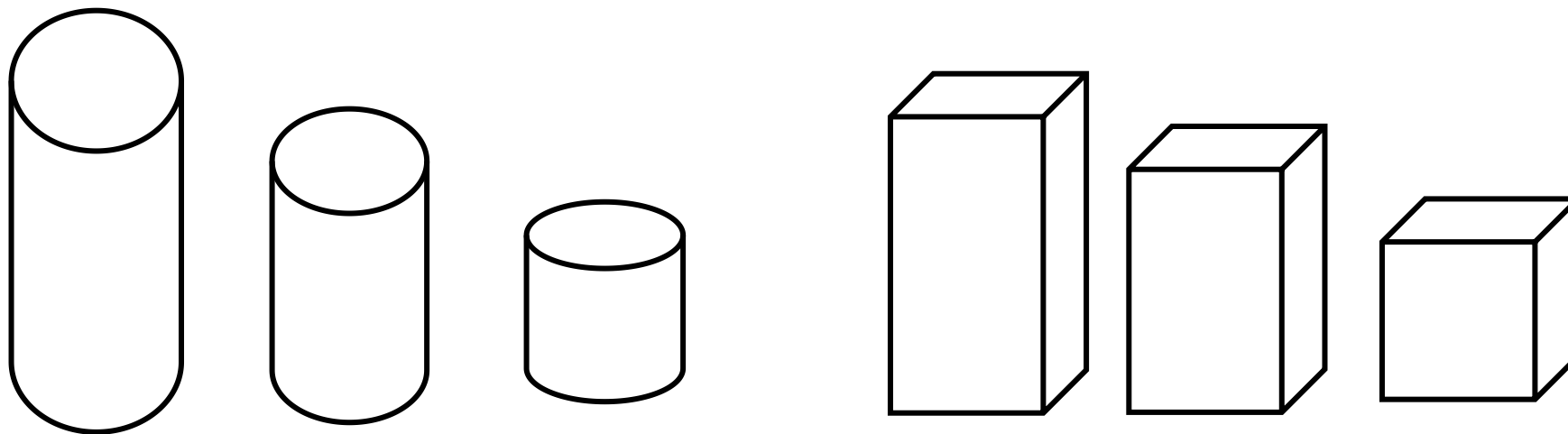
えんぴつ・はさみ・マーカーペンなどが立てられるもの



ふあぶらぼ☆くらぶに参加の小4の女の子3人が、小物入れ作りに挑戦したら、
こんなえんぴつ立てができました。

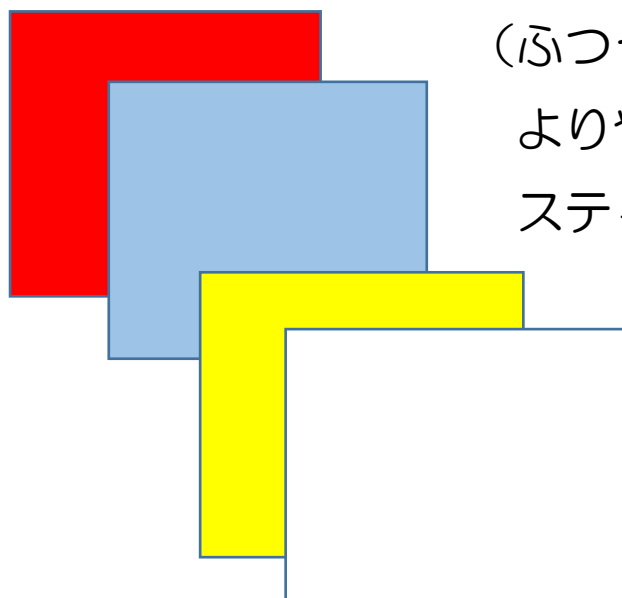
①準備するもの…使い終わって捨てたいときに、燃えるごみとして処分できるように考えました。

- つつ状の物…トイレットペーパーのしんなど
紙パックの丸いもの（四角のものでもよい）
厚紙を好きな大きさに丸めたものなど



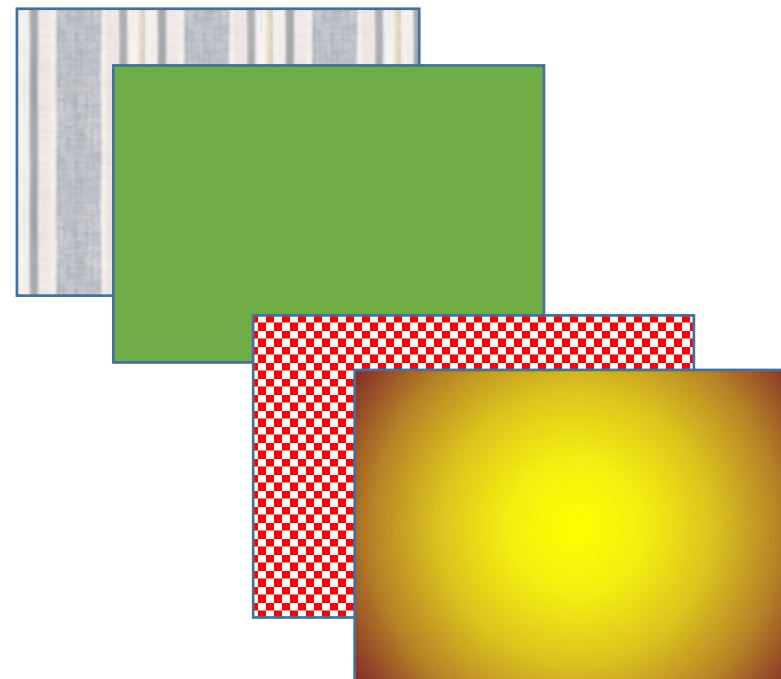
・つつにはる紙・付属品を作る紙

折り紙は両面折り紙などの厚手のもの



(ふつうの折り紙はしわが
よりやすいので、
スティックのりを使う)

薄手の画用紙・模様入り包装紙など

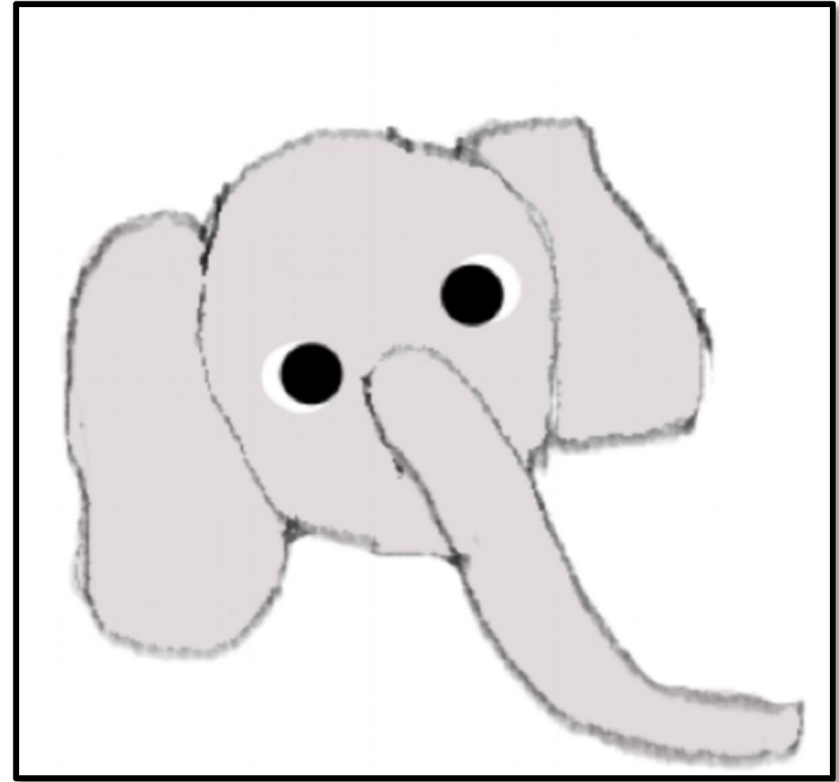
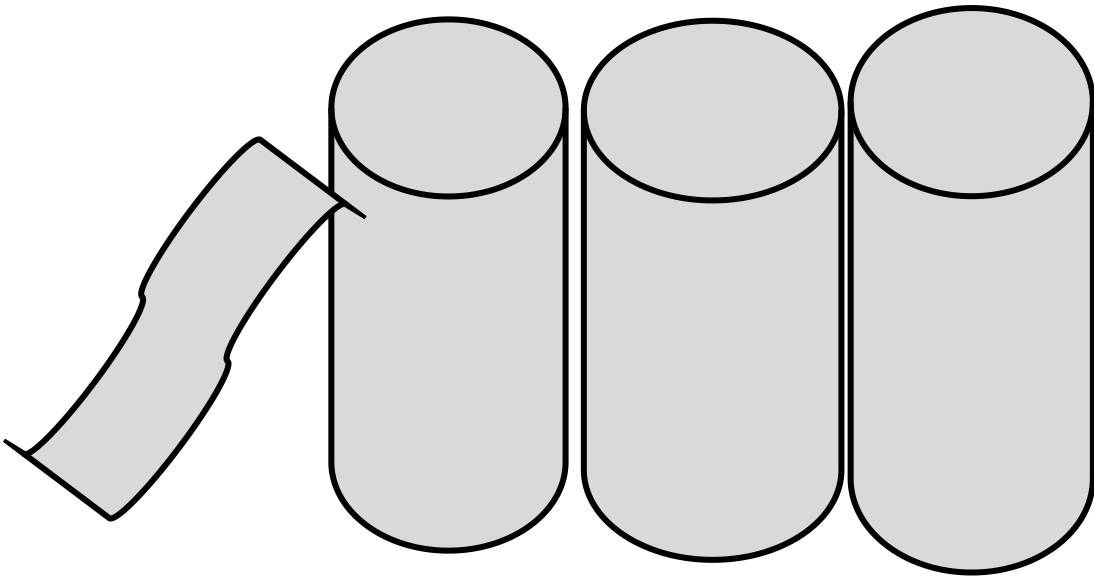


その他・台紙にするダンボールなどの厚紙

・スティックのり・ボンド・はさみ・カッター・円形を作るときのコンパスなど

②どんなものを作りますか？

- どんなものにするか、簡単な絵をかいてみる。





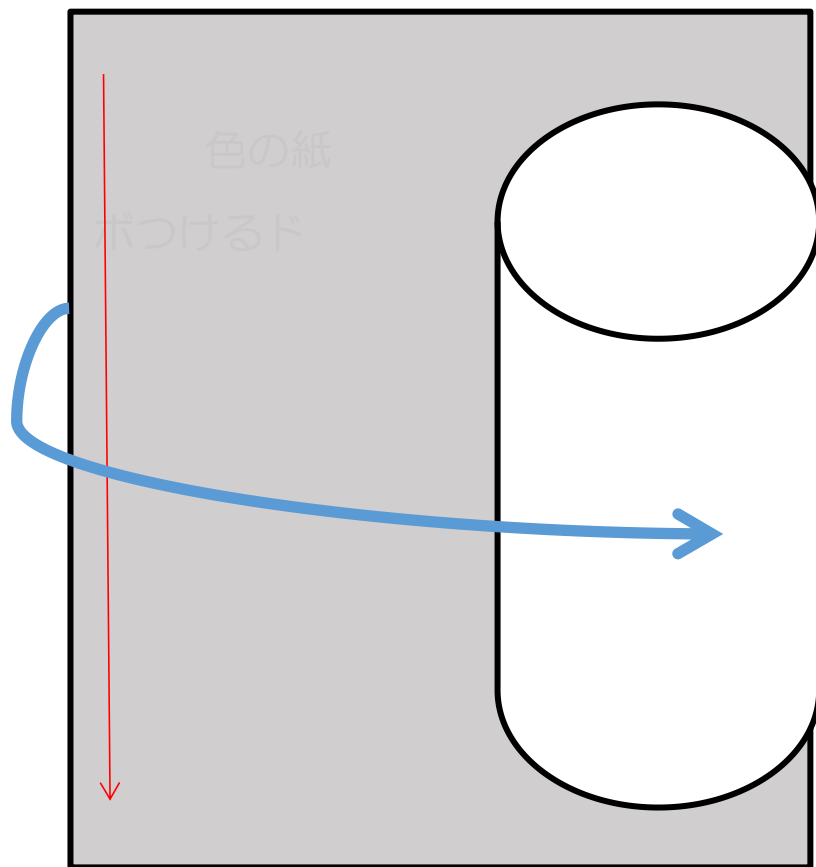
- 大きさを決める。
つつの大きさに合わせて、顔・耳・鼻などのだいたいの大きさを決めて、紙を切っておくとよい。

ゾウをのせる台

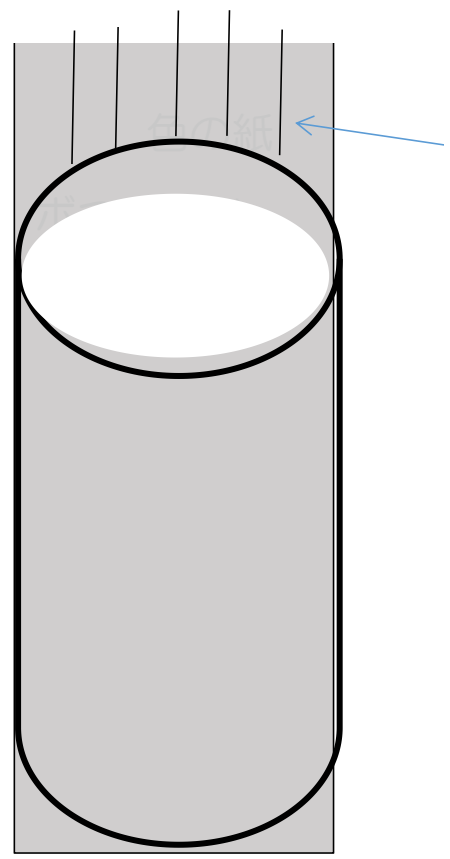


厚みのあるダンボールや木片などに、紙を貼る。
(この台をつけると、物を入れても倒れない。)

- 色を決めて紙を貼る。



スティックのりをつけて、つつに巻き付ける。
巻き終わりのところに、**ボンド**を少しつけて止める。



はみ出している紙を切り目をさし、
この中に折り込むのでOK!

- 土台につつをはって、そのほかの部分をつくる。



※「もう一つ作りたーい♥」ということで、見本なしで、自分の好きなものを作ってみました。



小さい折り紙が得意なので、小さいバラの花と
うさぎの友達をたくさん作りました。
楽しくできました。

パンダの笑った顔がうまくできました。
三人が手をつなぐところがむずかしかったです。





何を作るか決めるところで時間がかかりました。
パンダのささとペンギンが口にくわえている魚を
工夫しました。



府中市市民活動センタープラッツ登録団体

私たちは「いろいろな材料で小物を作って楽しもう」という団体です。
今までは「まず折り紙でお花を作って楽しもう」と活動してきました。
今年で丸4年。
これからは このえんぴつ立てのような工作や、ペーパークラフトで、
折り紙とは少し違う花や花かごなどに挑戦してみようと相談しています。
興味のある方はプラッツのホームページなどで、ご覧ください。

代表 上田嘉代子